

# 農業委員会だより



## 主な内容



### ● 農業委員会活動報告

- 農地パトロールの実施 ..... 2
- 耕作放棄地復元モデル事業 ..... 3
- 農業委員・農地利用最適化推進委員の活動 ..... 4

### ● 農業委員会からのお知らせ

- 農地の賃借料情報 ..... 6
- 農業者年金加入者インタビュー ..... 7

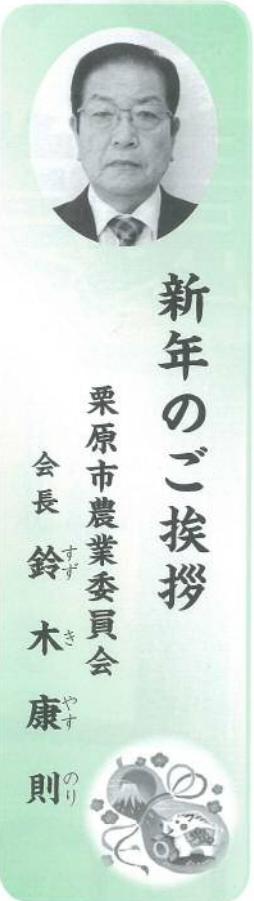
### ● 地域農業情報

- 農業したいまち栗原 ..... 8
- おいしいお菓子み～つけた！ ..... 8

## 地域農業の6次化を推進

一迫金田 白鳥正文さん一家  
有限会社川口グリーンセンター  
の代表取締役社長正文さん、由美  
さん夫妻、後継者の太朗さん、舞  
ちゃん、孫の楓大ちゃん、清大、  
ちゃん、桃萌ちゃん、豪流ちゃん、  
父親の豊さんの4世代9人家族で  
す。

平成13年に法人化し、金田地区  
121名と水田賃貸借契約を結び  
64ヘクタールを耕作、米販売、米  
粉パン製造・FC事業、花生産（ス  
プレー菊・ストック）を経営。  
役員2名、従業員15名で、地域  
農業の6次化を推進しています。



新年あけましておめでとうございます。

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

農業委員会の業務推進ならびに農業振興に、格別なるご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、昨年の農業情勢を振り返れば、平成30年7月豪雨や台風21号、北海道胆振東部地震など大きな災害があり、被災地においては水田への土砂流入やビニールハウスの倒壊など、農業被害も多数見受けられました。被災された皆様の一日も早い復興を心からお祈りいたします。

栗原市農業委員会は、改正後任期半ばになり、農業委員・農地利用最適化推進委員の体制、活動が定着し農業委員会が行う「農地所有者、耕作者の農地等の意向把握調査」とそれを踏まえた「地域の話し合い活動」に積極的に参加支援して行く所存であります。

農業に携わる皆さん、誇りと自信、そして希望をもつて地域農業に取り組めるよう、関係機関並びに団体と農業委員会が一丸となつて「農地利用の最適化」に取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

新年を迎え、市民、農家各位のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

## かけがえのない農地を守る取組み 農地パトロール(利用状況調査)の実施

11月5日(月)～9日(金)／栗原市内

遊休農地の実態把握と発生防止・解消指導や農地の違反転用発生防止等のため、農業委員と農地利用最適化推進委員が事前

調査をもとに、市内各地区の農地パトロールを実施しました。

調査の結果、背丈の高い雑草や、雜木も発生している農地も見受けられました。

荒れている農地は、病害虫の発生原因や、有害鳥獣の隠れ家

となる恐れもあり、周辺の耕作者に迷惑をかけるだけでなく、景観や生活環境の悪化にもつながりかねません。

今後、このような管理指導が必要な農地の所有者や耕作者に対し、口頭や文書による指導を実施するほか、復元の助言や賃貸等のあっせんなど適正な管理につなげていくことにしていきます。



第1区



第2区



第3区

▲農地パトロールの様子

**農業者年金に加入しましょう！**

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。 ☎ (42) 1239

耕作放棄地復元モデル事業

## 荒廃農地の解消に向けて

11月12日(月)～19日(月)／栗原市内



農業委員  
及川正一

農業委員と農地利用最適化推進委員が荒廃農地の復元作業をモデル的に行う「耕作放棄地復元モデル事業」を、市内3ヶ所に分かれ実施しました。各委員は、フレールモアや草刈機、チエーンソーなどを持ち寄り、合わせて約64アールの荒廃農地において、生い茂ったカヤや雑草、柳などの除去に汗を流しました。

きれいによみがえった農地は、地域の担当者へ貸し出し、春から作付けされる予定となっています。

今回の第1区（高清水・瀬峰・築館・一迫）は、11月19日（月）、高清水新神明地区で荒廃状態であった畠の復元（面積25アール）に取り組みました。

フレールモア、スライドモア、草刈機を委員各自が持ち寄り、総出での作業で美しい畠によみがえりました。

復元された畠は、道路に面しており、景观にも一役かっており、作業した委員にも笑顔が見られました。解消された農地は、新たな農産物が作付けされる予定になっており、この事業が耕作放棄地解消の一役となればと思つております。

作業終了後、これからもますます農業

委員・農地利用最適化推進委員と協力を深め、耕作放棄地が栗原からなくなる努力していこうと誓いました。



復元作業のようす

◆荒廃農地の復元作業にとりかかります。



▶フレールモア、スライドモアで整地をしています。



▶耕起をし、美しい畠になりました。

## 平成最後の市民まつり



農地利用最適化推進委員  
佐藤みき

平成30年8月25日（土）、快晴に恵まれ『ぎゅぎゅっと栗原』をメインテーマとした市民まつりが開催されました。

今年の夏は猛暑で、当日もあまりの暑さに、とにかく大変でした。

農業委員会のブースでは、農業者年金の普及推進と栗原の特産の一つであるズッキーニの消費拡大をねらった、スープ、パンケーキ、蒸しパンをところ狭しと並べてPRに奮闘しました。前日から、女性委員みんなで準備をした甲斐があり、試食された方々からは「簡単で手軽に作れるし、とてもおいしい」と大好評でした。

農業委員会会長はじめ男性委員の応援もあり、平成最後の市民まつりに華を添えることができました。



▲市民まつりの様子

ました。

単で手軽に作れるし、とてもおいしい」と大好評でした。

農業委員会会長はじめ男性委員の応援もあり、平成最後の市民まつりに華を添えることができました。

## 農業委員・農地利用最適化推進委員研修会

8月31日(金)／石巻市遊楽館



農業委員  
大黒昭夫



県内すべての農業委員会が新体制ということで、多くの農業委員・農地利用最適化推進委員の参加がありました。研修会では、農業委員会を巡る情勢と農地利用最適化の推進の取り組み、農地パトロール、農地利用意向調査の活動について説明がありました。また、農業振興公社から農地中間管理機構の重点取組方針、農業委員会との連携、地域コーディネーターの紹介と大河原集積事例の紹介がありました。そして、登米市の門脇推進委員からは農地利用最適化の推進と取り組みの課題について活動報告がありました。

研修に参加し、

地域の農地を守り活かす活動を確認するとともに、農地利用の最適化の推進に向けての活動強化が重要であると認識しました。

## 女性の社会参画に関する懇談会

11月6日(火)／大崎市図書館



農業委員  
佐竹きみ子



「女性が活躍できる環境づくりを目指して」をテーマに、県北の女性農業者・農業委員・農地利用最適化推進委員ら約50名が参加し、男女共同参画の現状と課題についての情報提供いただき、意見交換を行いました。蔵王町で水稻と施設園芸を営む関口英樹さんは、家族経営協定を締結しています。農家特有の公私入り混じった生活に家族全員での共通認識が持てたこと、文書化することで家族の役割が明確になったとして協定締結のポイントやメリットについて話されました。

石巻市の西條由美恵さんは、施設園芸(ガーベラ)と水稻を営み、ガーベラ栽培を通して人と繋がることの楽しさ、大切さを知りました。多くの人に花のある暮らしの良さ、豊かさを知ってほしいと、花育教室などにも取り組まれています。女性の農業経営参画には、家族や地域での意識の共有が必要であると感じました。その後、活発な意見交換が行われ、大変充実した懇談会でした。

## 第3回宮城県農業委員会大会

11月21日(水)／名取市文化会館



農業委員  
尾形陽一郎



県内すべての農業委員会が農業委員会法改正の新制度に移行してから始めての大会として、農業委員・農地利用最適化推進委員が一同に会し開催されました。基調講演では農業経営学が専門の秋田県立大学准教授、中村勝則氏による「農地利用最適化と地域農業」というテーマで、農地利用集積の先進事例として秋田県内の農業法人を参考しながら、農地利用最適化を進めるための農業委員会の役割についてご講演いただきました。

議事においては、農地利用の最適化の取組みを強化するための要請決議、「新・農地を活かし、担い手を応援する全国運動」のさらなる推進に関する申し合わせ決議、農業者年金加入推進活動の強化に関する申し合わせ決議、農業者年金加入推進活動の強化に関する申し合わせ決議、情報提供活動の強化に関する申し合わせ決議の4議案について満場一致で可決されました。

### 農業者年金に加入しましょう！

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。 ☎ (42) 1239

# くりはら女性農業者のつどい 参加者募集!!

市内の女性農業者のみなさんが  
新しい知識を学び、ネットワークを作るための女子会を開催します。

今回は、6次産業化により志波姫のご自宅で宅配弁当を手がける  
相馬優子さんを講師にお迎えし、講話をいただきます。

○日 時	平成31年2月7日(木) 午前10時から
○場 所	市役所金成分庁舎3階 特別会議室
○内 容	『私が宅配弁当を始めたきっかけ』(宅配キッチンゆう YOU 相馬優子さん)
○対象・定員	栗原市内の女性の方 20名程度
○参 加 費	600円(弁当代ほか)
○申 し 込 み	平成31年1月18日(金)まで、農業委員会事務局 ☎(42)1239に電話でお申し込み下さい。

## 事前予約のお願い！ (申請・届出・相談など)

申請や届出・相談(農地の転用・権利の移動、非農地証明など)のお客様で窓口が込み合い、長時間お待ちいただくことがあります。

大変お手数ですが、農業委員会事務局または各総合支所市民サービス課産業建設係に事前予約のうえ、ご来庁いただきますようご協力をお願いいたします

## 平成30年度農業委員会 総会開催予定

申請期日	1月	2月	3月
10日(木)	12日(火)	11日(月)	
29日(火)	26日(火)	27日(水)	

### 【相談予約・お問合せ先】

農業委員会事務局	☎ (42) 1239
築館総合支所	☎ (22) 1114
若柳総合支所	☎ (32) 2124
栗駒総合支所	☎ (45) 2114
高清水総合支所	☎ (58) 2113
一迫峰総合支所	☎ (52) 2114
瀬澤沢総合支所	☎ (38) 2114
鶯金成総合支所	☎ (55) 2114
志波姫総合支所	☎ (42) 1114
花山総合支所	☎ (25) 3114
	☎ (56) 2114

## 農業委員会総会審議状況

	農地法第3条 農地の 賃貸借・売買等	農地法第4条 自己所有地を 転用する場合	農地法第5条 権利を設定・移動 して転用する場合	農用地利用集積計画 認定農業者等への 賃貸借・売買等	非農地証明 使用されている土 地について農地で ないことの証明
7月	21件(170,045m <sup>2</sup> )	1件(241m <sup>2</sup> )	11件(7,965m <sup>2</sup> )	13件(248,118m <sup>2</sup> )	5件(10,858m <sup>2</sup> )
8月	8件(10,713m <sup>2</sup> )	3件(2,294m <sup>2</sup> )	10件(13,730m <sup>2</sup> )	13件(156,730m <sup>2</sup> )	7件(1,302m <sup>2</sup> )
9月	10件(55,793m <sup>2</sup> )	3件(731m <sup>2</sup> )	24件(17,135m <sup>2</sup> )	10件(41,858m <sup>2</sup> )	7件(18,557m <sup>2</sup> )
10月	16件(134,537m <sup>2</sup> )	2件(427m <sup>2</sup> )	11件(3,752m <sup>2</sup> )	12件(70,121m <sup>2</sup> )	1件(15m <sup>2</sup> )

## 栗原市の農地の賃借料情報

平成29年12月から平成30年11月までの1年間に賃貸借権を設定した賃借料の水準（10アールあたり）は、下記のとおりです。

今後、農地を貸し借りする際の参考としてご利用ください。

**田（水稻）**

地区名	平均		最高		最低		データ件数	
	金納	物納	金納	物納	金納	物納	金納	物納
築館	10,100円	59kg	14,700円	90kg	2,900円	21kg	72件	224件
若柳	14,300円	58kg	22,000円	120kg	4,200円	16kg	875件	140件
栗駒	10,900円	49kg	14,200円	116kg	3,100円	14kg	453件	544件
高清水	6,900円	76kg	12,000円	120kg	4,300円	30kg	10件	165件
一迫	11,800円	49kg	18,500円	90kg	4,800円	16kg	431件	223件
瀬峰	10,900円	53kg	17,700円	104kg	2,700円	13kg	477件	126件
鶯沢	9,600円	53kg	14,200円	116kg	5,000円	27kg	183件	77件
金成	7,500円	61kg	10,000円	90kg	5,300円	25kg	57件	395件
志波姫	11,900円	54kg	20,000円	83kg	8,000円	30kg	393件	61件
花山	6,000円	53kg	9,800円	110kg	4,400円	26kg	7件	14件
栗原市	12,000円	56kg	—	—	—	—	2,958件	1,969件

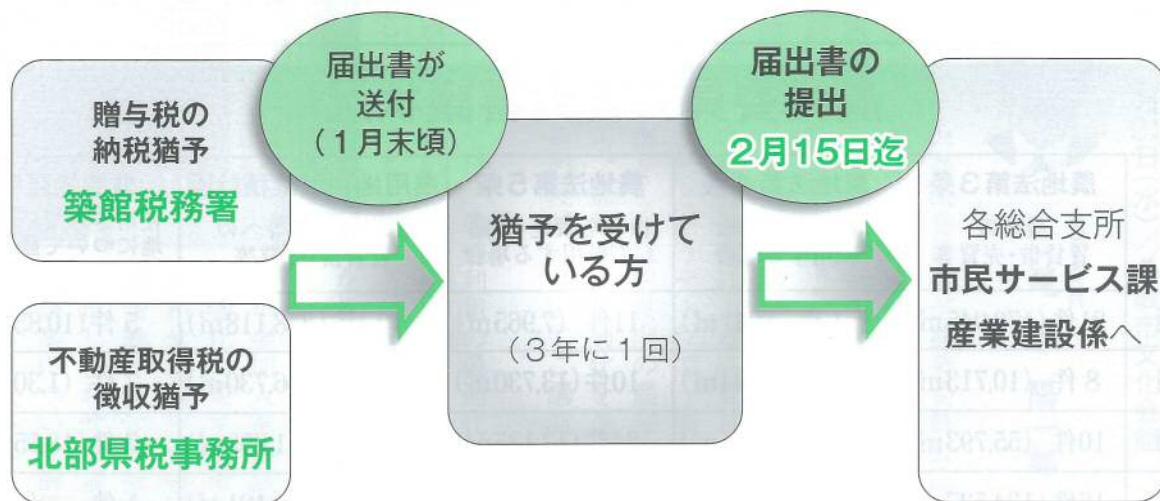
※特別な事情などで賃貸借されたデータは除いています。

※畑については、提供できる賃借料情報が少ないとから表記していません。

※データ件数が少なく前年と大きく変動している地区があるので、実際の賃借料を決める場合は、周囲の収量や地域の実情、圃場の条件等（未整理地、湿田、山間地等）に合わせて、貸出人と借受人で話し合い決めてください。

## 農地の生前一括贈与により納税の猶予を受けている方へ

3年に1回届出が必要になります



農業者年金に加入しましょう！

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。 ☎ (42) 1239

若柳米ヶ浦  
佐 藤 慎太朗  
さん

## 農業者年金加入者に インタビュー

慎太朗さんは、山梨県の大学を卒業後一般企業に就職し、平成13年にUターンして就農しました。家族経営で、水稻8ヘクタールとレンコン1ヘクタールを耕作しています。慎太朗さんはレンコン栽培に力を入れ、消費者の方々から「今年も大変おいしかったよ。」と言われることがいちばん嬉しく、励みになると話していました。

農業者年金の加入は、農業委員の勧めと、保険料が全額社会保険料控除になること、終身年金で80歳までの保障付きであること、積立方式で保険料の額は自分で設定できることを知り加入了しました。

農業経営の効率化と節税を図りながら、老後の生活に備えたいと話していました。  
(取材 鈴木 康則会長)

しっかり積立て  
がっちりサポート  
安心して豊かな老後を

同じ積立てでも・・・  
貯金は使ったら終わり。  
農業者年金は一生涯！

農業者年金は『積立て方式・確定拠出型』で少子高齢化時代でも安心！

保険料（月額2万円～6万7千円）は自分で選べ、いつでも変更できます！

農業者年金は終身年金！

仮に80歳までに亡くなられた場合は、80歳までに受け取れるはずであった死亡一時金が遺族に支払われます。

社会保険料控除など税制面での優遇があり、節税効果バツチリ！

農業経営が安定しない時期を支える、保険料の国庫補助制度があります！

※一定の要件を満たす農業者に限ります。

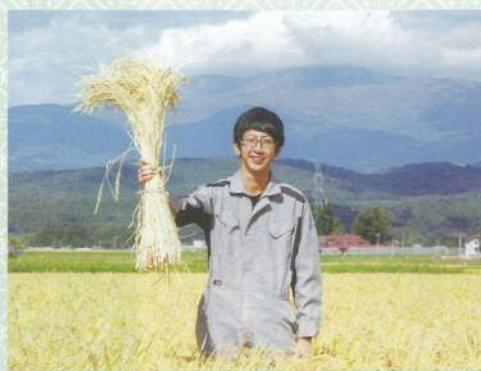
農地を所有していないなくても、3つの要件を満たせばどなたでも加入できます。

国民年金第1号被保険者  
(納付免除者を除く)

年間60日以上  
農業に従事

60歳未満

詳しくはお問い合わせください。 栗原市農業委員会事務局 ☎ (42) 1239



## お米作りしたいまち 栗原

栗駒稻屋敷 加藤圭さん(27)

初めまして、加藤圭と申します。年齢は27歳になりました。

私は現在、有限会社くり

こま高原ファームで働き始

めて4年目になります。

経営は水稻を中心に行作面積は約82ヘクタール、主食用地52ヘクタール程作付けしています。

ファームに就職するまでは、地元である栗駒の中学校、高校に進学し大学は名

取にある尚絅学院大学の現代社会学科に進学しました。その後、住宅メーカーの営業、飲食店での仕事をしてきました。

ファームに就職した1年目は、長野県に約8ヶ月農家研修をさせていただきました。そこではお米だけではなく、酪農と水稻の複合

経営を行っていました。また、多種多様な加工品の生産と販売、自社のカフェやショッピングを持つ多岐にわたる販売経路、そして何より農業のイロハを学べました。就農4年目になりますが、お米作りはまだまだ新鮮で充実した日々を送っています。

これからは、作業を覚えるだけでなく、農業という業種に若い世代を巻き込んでいけるような動きもしていきたいと考えています。

## おいしいお菓子 み~つけた!!

さとう洋菓子店  
☎0228-52-4091

〒987-2308 栗原市一迫真坂字明神224番地

グルテンフリーの焼き菓子を作っている一迫真坂地区の佐藤眞永さんは、両親とともに米やトマト、ユリを栽培しています。東京都内のレストランやカフェでの勤務経験を活かし、栗原市の6次産業化推進事業の後押しを受けて、平成29年10月に自宅の敷地内に『さとう洋菓子店』を開店しました。

自分がグルテンフリーの生活をしていること、自家用野菜や果物の利用、農閑期の充実ということから始めた洋菓子は、あやめの里（一迫真坂）や栗原中央病院売店で、月・木・金曜日に販売しています。また、それ以外に予約も受け付けています。

※グルテンフリー…小麦などグルテンを含む食品をとらない食事法。

(取材：千葉優子委員)



### 編集後記

巷では、平成最後の〇〇〇〇というような言葉が最近良く聞かれます。

平成最後の正月を迎え、変わりゆく時代に少々うつろいを感じながら、この平成時代の農業を振り返ると、グローバルな潮流に翻弄された経営環境であったと考えます。

そのような厳しい経営環境の中でも、柔軟に対応してきの農業者、農家の皆さんに、私も一人の農業者として今後も頑張りましょうとエールを送ります。

(大場 裕之委員)